

これからの季節、雨天時の登下校が心配です。ご家庭での声がけと準備(傘点検、長靴、タオル等持参)をお願いします。



旭小ブログほぼ毎日更新中！最新情報はブログをご覧ください！

旭の子だより

～かしこく やさしく たくましい 旭の子～ R8 No.2(2026.5.19)



「あい」ある旭小

～いのちを大切に、いじめなし、いっしょうけんめい～

校長 半田幸弘

5/14(木)全校朝会で、あいある旭小学校になるために、次の話をしました。

<以下、朝会の話>-----

朝ご飯を食べ、元気に挨拶ができ、ありがたいの感謝の気持ちを忘れない旭の子のみなさん、おはようございます。

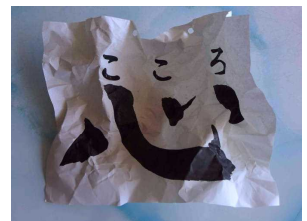
いつもの「かしこくやさしくたくましい旭の子」とは違う言い方をしましたが、わかりましたか？そう、3つの「あ」。あさごはん、あいさつ、ありがとうございます。

1年生には入学式で話をしました。2年生以上には今まで言ってきましたよね。

今日は三つの「い」の話をします。いのちを大切に、いじめなし、いっしょうけんめい、です。

はじめに「いのちを大切に」話です。私が先生として教えた子で3人の子がいのちをなくしています。一人が交通事故で、二人が自死、自殺です。ゲームのようにリセットをして、その子たちに会えたらどんなによいか、その子たちのお父さん、お母さんたちがどんなに喜ぶか、よく考えます。でも、一度なくした「いのち」は絶対に戻りません。旭の子のみなさんお願いします。交通事故に遭わないように気をつけてください。道路では落ち着いて行動しましょう。どんなにつらいことがあっても死んではいけません。自死、自殺をしてはいけません。いのちを大切にしてください。

次に「いじめなし」の話です。いじめをしてはいけません。いじめられた子は学校に来たくなります。休み時間も楽しくありません。先ほど言いましたが、自分で死んでは絶対にいけないのですが、死にたくなるかもしれません。これを見てください。きれいな心です。いじめられると心がくしゃくしゃになります。元に戻そうとしても簡単には元に戻りません。そして、いじめた子も後になって嫌な気持ちになります。そしてみんなが幸せではなくなります。だからいじめをしてはいけません。いじめなしの旭小学校にしてください。



くしゃくしゃになった紙は簡単には元に戻らない。

最後に「いっしょうけんめい」の話です。私はよく山に登ります。途中苦しいことがあります。でもいっしょうけんめいに頑張って登ります。そうするときれいな景色が見えてきます。とてもうれしい気持ちになります。学校生活も一緒です。嫌なこと、つらいこと、苦しいこともあります。でも、いっしょうけんめいにがんばるとその後、うれしいことが待っています。

先生の仕事は、「どうすると幸せになれるかを教える仕事」だと思っています。自分のいのち、他人のいのちを大切に、いじめをしないで心優しく、いっしょうけんめいに勉強や運動をがんばると幸せになれる。私がこれまでたくさん子どもたちを見てきて本当にそう思います。ぜひ、旭の子全員が幸せになるために、いのちを大切に、いじめをしないで、いっしょうけんめいに勉強や運動をがんばってください。



これで「あ」と「い」が揃いました。合わせて「あい」です。「あいある旭小学校」でみんなで幸せになっていきましょう！

今日もよく聞いてくれてありがとうございました！特に6年生、6年生が立派だと旭の子みんなが立派になります。5年生は林間学校で成長しさらに立派になるでしょう。そんな5、6年生を見習って、1、2、3、4年生のみなさんも立派になっていきましょう！

旭小の学力向上対策と旭の子の現状

日本の学校にはたくさんの役割がありますが、やはり一番は学力向上です。

学力向上のために、まず大切なのは学習規律です。先生の言葉が子どもたちにしっかり届く落ち着いた学び意欲に基づいた適度な活気が必要です。そのために先生たちは年度初め、学習規律定着のために少し厳しめの指導をしています。

その次に授業の質です。子どもたちが学びたくなるような導入、知らなかったことを知る楽しさ、できるようになる喜びが感じられる授業にしなければなりません。そのために本校では「確かな学力を身につけ自ら学びに生かそうとする児童の育成～自己の変容を実感できる『振り返り』の習慣化を図る授業づくり～」をテーマとして研修を行っています。一人一人の先生がよりよい授業のための課題を見だし、その解決のために他の先生と共に実践と情報交換を進め、子どもたちにとって有益な授業づくりをしています。

昨年度末に全学年で実施した標準学力テスト(国語・算数)で全国平均を超えていないのは現6年国語のみで、それもわずかマイナス0.1ポイントです。このことから、旭の子の全体の学力は概ね良好といえます。

今後さらに学力が向上していけるよう教職員一丸となり、よい授業づくりに努めていきたいと思っています。

プールが始まります！家庭でも十分な健康観察をお願いします。

6月から水泳学習が始まります。子どもたちも楽しみにしているところですが、時に命に関わる場合がありますので、学校では、入水前の健康観察、入水中の見守り、入水後の健康観察を十分に行っていきます。ご家庭におきましても、十分な睡眠、バランスのよい食事、丁寧な健康観察を行って

いただきますようお願いいたします。なお、**今年度もプールカードを使用しません**(担任に

よる朝の健康観察時間を十分にとるため)、水泳学習を見学する場合には、通常の体育授業同様に連絡帳等でその旨を担当にお伝えください。また、見学の連絡をいただかない場合でも、学校での健康観察や本人からの希望により見学させることがあることもご了承ください。加えて、水着は盗難等がないよう、入水しない場合でも持ち帰らせます。ご理解とご協力のほど、よろしくをお願いします。



いのちに関わる自転車走行～ご家庭での声かけと約束をお願いします～

群馬県は児童、生徒の自転車事故が多いと言われています。太田市や近隣市町村においても毎年のように自転車での重大事故が起こっています。自他のいのちをまもり、一生に関わるような事故に巻き込まれないよう本年度も太田警察署の警察官をお迎えして3年生を対象に自転車教室を行いました。また、他学年においても学級担任等から自転車走行も含めた交通安全指導を行っている所です。ぜひご家庭でも自転車の安全走行指導と乗る範囲の約束をしていただきますようお願いいたします。



なお、今年度より「旭小のきまり」から自転車走行区域の記述を外しました。これは自転車走行が一番身近な保護者のご指導に従っていただきたいとの思いと九合児童館や運動公園、南矢島等は学区外になってしまい実態に合っていないためです。なお、以下にこれまでのきまりを載せますので、ご家庭での自転車走行の約束の参考にして下さい。

【参考「R7旭小のきまり」自転車走行の範囲より抜粋】

1,2年生:道路では自転車に乗らない 3,4年生:旭小学校校区内 5,6年生:旭小学校と九合小学校の校区内

<半田のつばやき～旭の保護者はよい保護者～>

たいへんな学校があるものだ。ネットニュースの見出しにこんなのがあった。「『あいつら何しに来たんだよ』授業参観中、保護者が廊下で大声おしゃべり。(後略)」記事を読むと、中学校の話のようで「あいつら何しに来たんだよ」は男子生徒がつばやいた言葉らしい。先生になりたての頃、子どもと保護者を集めた林間学校説明会で主任の先生が「親も子もうるさい！」と叫んでいたのを思い出した。僕も含めて、今時の先生は「親もうるさい！」とは言えないだろう。本校でも4月末に授業参観を実施したがこんな様子は見られなかった。旭小の保護者のマナーはよく、廊下でのヒソヒソ話位だったように感じている。旭の保護者はよい保護者である。